



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月10日

上場取引所 東大

上場会社名 丸大食品株式会社
 コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百済 徳男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 澤中 義和

TEL 072-661-2518

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	99,148	0.2	3,246	7.9	3,282	10.5	2,695	28.4
22年3月期第2四半期	98,980	△3.9	3,008	105.2	2,971	87.3	2,098	73.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	20.38	—
22年3月期第2四半期	15.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	116,344	63,742	53.8	472.95
22年3月期	115,294	62,231	53.2	463.40

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 62,556百万円 22年3月期 61,294百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	7.00	7.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	1.7	5,500	6.7	5,500	6.0	3,500	9.0	26.46

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】5ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 132,527,909株 22年3月期 132,527,909株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 258,498株 22年3月期 256,031株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 132,270,499株 22年3月期2Q 132,273,788株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. (参考) 比較連結損益計算書等	12
(1) 比較連結損益計算書	12
(2) 比較連結貸借対照表	13
(3) 比較連結キャッシュ・フロー計算書	15

1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速や円高の進展を背景とした輸出の弱含みなどから、回復ペースは鈍化し、景気の先行きに不透明感が強まりました。

当食肉加工業界におきましても、お客様の生活防衛意識による節約志向の強まりや販売競争の激化、食肉相場の低迷など、デフレ傾向が一段と進む厳しい環境下にありました。

このような状況の中、当社グループは「商品開発力の強化」「グループ経営の強化」「コスト競争力の向上」の3つの施策を軸とした企業活動を推進する一方、品質管理体制の一層の強化・充実を図り、お客様に信頼される「より安全で安心」な食品の提供に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比0.2%増の991億48百万円、営業利益は前年同期比7.9%増の32億46百万円、経常利益は同10.5%増の32億82百万円、四半期純利益は同28.4%増の26億95百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次の通りであります。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益(営業利益)		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	71,436	72,790	1,353 (1.9%)	3,068	2,984	△84 (△2.7%)
食肉事業	27,324	26,145	△1,179 (△4.3%)	△126	177	304 (-)
その他	219	212	△6 (△3.1%)	66	84	18 (27.5%)
合計	98,980	99,148	167 (0.2%)	3,008	3,246	238 (7.9%)

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	43,843	43,129	△713 (△1.6%)
調理・加工食品	27,593	29,660	2,067 (7.5%)

(注) 前第2四半期連結累計期間の金額は、当第2四半期連結累計期間と同様の基準で算定した実績を記載しております。

①加工食品事業

ハム・ソーセージ部門は、平成22年モンドセレクション食品部門において3年連続で最高金賞を受賞した「燻製屋熟成ウインナー」や「いつも新鮮ロースハム」などの主力商品を対象とした販売促進キャンペーンを実施して売上拡大を図りました。お中元ギフトにつきましても、主力ブランドである「王覇」「煌彩」シリーズを中心に豊富なラインナップを取り揃えて拡販に努めました。

調理・加工食品部門は、デザート類の売上高が「SWEET CAFE 珈琲ゼリー」などの新商品の投入により伸長しましたほか、「ブラックタピオカミルクティー」などの飲料類も今夏の猛暑の後押しを受け堅調に推移しました。また、韓国風チゲ「スンドゥブ」シリーズなどのレトルト商品の販売に積極的に取り組みました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比1.9%増の727億90百万円となりました。営業利益はお客様の低価格志向の強まりや競争激化による販売価格の低下など厳しい状況が続き、前年同期比2.7%減の29億84百万円となりました。

②食肉事業

当事業を取り巻く環境は、消費者の低価格商品志向による食肉相場の低迷に加えて、口蹄疫の発生や猛暑による国産豚肉の出荷減少など、非常に不安定な状況が続きました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比4.3%減の261億45百万円となりましたが、営業利益は輸入食肉販売の収益性が回復したことなどにより1億77百万円と黒字になりました。

③その他事業

その他事業の売上高は前年同期比3.1%減の2億12百万円、営業利益は前年同期比27.5%増の84百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増 減
総 資 産	115,294	116,344	1,049
負 債	53,062	52,602	△ 460
純 資 産	62,231	63,742	1,510
自 己 資 本 比 率	53.2 %	53.8 %	0.6 %

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が17億6百万円減少しましたが、原材料及び貯蔵品が21億60百万円増加したほか、受取手形及び売掛金が11億85百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて10億49百万円増加し、1,163億44百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が11億30百万円増加しましたが、リース債務及び借入金が13億49百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて4億60百万円減少し、526億2百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当金9億25百万円の支払いや、その他有価証券評価差額金5億28百万円の減少がありましたが、四半期純利益26億95百万円の計上などにより前連結会計年度末に比べて15億10百万円増加し、637億42百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.6%増加し、53.8%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,734	2,040	△ 5,694
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,716	△ 1,310	405
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 903	△ 2,434	△ 1,531
現金及び現金同等物の期末残高	8,127	8,909	781

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加による減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上などから、20億40百万円増加(前年同期に比べ56億94百万円減少)しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質の安定のための固定資産の取得による支出などから、13億10百万円減少(前年同期に比べ4億5百万円支出減少)しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務及び借入金の返済や配当金の支払いなどにより、24億34百万円減少(前年同期に比べ15億31百万円支出増加)しました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結会計期間末に比べ7億81百万円増加し、89億9百万円となりました。また前連結会計年度末に比べて17億6百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成22年5月13日に発表した業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降の経営環境等に著しい変化が認められないことから、前連結会計年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ4百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は、42百万円減少しております。

2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,946	10,652
受取手形及び売掛金	21,037	19,852
商品及び製品	6,762	5,918
仕掛品	730	631
原材料及び貯蔵品	10,179	8,019
繰延税金資産	1,445	796
その他	896	596
貸倒引当金	△52	△48
流動資産合計	49,945	46,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,556	45,848
減価償却累計額	△29,593	△29,352
建物及び構築物(純額)	15,962	16,496
機械装置及び運搬具	42,936	42,429
減価償却累計額	△33,787	△32,820
機械装置及び運搬具(純額)	9,149	9,608
工具、器具及び備品	5,647	5,624
減価償却累計額	△3,707	△3,648
工具、器具及び備品(純額)	1,940	1,975
リース資産	7,585	7,585
減価償却累計額	△2,936	△2,422
リース資産(純額)	4,649	5,162
土地	19,490	19,641
建設仮勘定	275	58
有形固定資産合計	51,468	52,942
無形固定資産	978	1,106
投資その他の資産		
投資有価証券	8,360	9,281
長期貸付金	136	128
繰延税金資産	53	67
その他	5,765	5,689
貸倒引当金	△363	△339
投資その他の資産合計	13,951	14,826
固定資産合計	66,398	68,875
資産合計	116,344	115,294

(単位：百万円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成22年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,541	18,411
短期借入金	486	987
1年内返済予定の長期借入金	8,072	8,244
未払法人税等	589	491
未払消費税等	283	487
リース債務	1,344	1,348
賞与引当金	1,235	1,065
その他	6,288	6,419
流動負債合計	37,842	37,454
固定負債		
長期借入金	9,287	9,423
繰延税金負債	1,103	1,271
退職給付引当金	533	516
リース債務	3,383	3,920
その他	451	476
固定負債合計	14,759	15,607
負債合計	52,602	53,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	21,685	21,685
利益剰余金	33,118	31,348
自己株式	△57	△56
株主資本合計	61,462	59,694
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,156	1,685
繰延ヘッジ損益	△2	3
為替換算調整勘定	△60	△87
評価・換算差額等合計	1,093	1,600
少数株主持分	1,185	936
純資産合計	63,742	62,231
負債純資産合計	116,344	115,294

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	98,980	99,148
売上原価	73,303	72,947
売上総利益	25,677	26,200
販売費及び一般管理費	22,669	22,953
営業利益	3,008	3,246
営業外収益		
受取利息	14	15
受取配当金	57	96
不動産賃貸料	95	92
その他	202	209
営業外収益合計	369	412
営業外費用		
支払利息	274	250
その他	131	126
営業外費用合計	406	376
経常利益	2,971	3,282
特別利益		
固定資産処分益	46	236
特別利益合計	46	236
特別損失		
固定資産処分損	164	105
減損損失	264	324
たな卸資産廃棄損	118	—
投資有価証券評価損	3	79
投資有価証券売却損	0	0
前期損益修正損	50	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	37
出資金評価損	—	0
特別損失合計	602	546
税金等調整前四半期純利益	2,415	2,972
法人税、住民税及び事業税	282	496
法人税等調整額	△32	△472
法人税等合計	249	24
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,948
少数株主利益	66	253
四半期純利益	2,098	2,695

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,415	2,972
減価償却費	2,964	3,008
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	28
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△213	△384
受取利息及び受取配当金	△71	△111
支払利息	274	250
固定資産処分損益(△は益)	118	△131
投資有価証券売却損益(△は益)	—	0
投資有価証券評価損益(△は益)	—	79
減損損失	264	324
売上債権の増減額(△は増加)	382	△1,216
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,029	△3,103
仕入債務の増減額(△は減少)	173	1,130
未払消費税等の増減額(△は減少)	90	△203
その他	△271	△136
小計	8,154	2,505
利息及び配当金の受取額	116	139
利息の支払額	△274	△250
法人税等の支払額	△260	△354
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,734	2,040
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△14	△16
投資有価証券の売却による収入	154	1
固定資産の取得による支出	△2,125	△1,682
固定資産の売却による収入	523	607
その他	△255	△220
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,716	△1,310
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△273	△498
長期借入れによる収入	4,193	4,003
長期借入金の返済による支出	△3,870	△4,311
リース債務の返済による支出	△766	△697
配当金の支払額	△661	△925
少数株主からの払込みによる収入	480	—
その他	△5	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△903	△2,434
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,118	△1,706
現金及び現金同等物の期首残高	3,009	10,615
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,127	8,909

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業損益の合計額に占める食品事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「加工食品事業」及び「食肉事業」の2つを報告セグメントとしております。

「加工食品事業」は、ハム・ソーセージや調理・加工食品の仕入、製造及び販売をしております。「食肉事業」は、食肉の仕入、加工及び販売をしております。

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	72,790	26,145	98,935	212	99,148	—	99,148
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	448	448	△448	—
計	72,790	26,145	98,935	661	99,596	△448	99,148
セグメント利益	2,984	177	3,162	84	3,246	—	3,246

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を
含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の
営業利益と一致しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第2四半期連結累計期間と同様の
の基準で算定した実績は以下の通りとなります。

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	71,436	27,324	98,760	219	98,980	—	98,980
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	440	440	△440	—
計	71,436	27,324	98,760	660	99,421	△440	98,980
セグメント利益	3,068	△126	2,941	66	3,008	—	3,008

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を
含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の
営業利益と一致しております。

③報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

(関連情報)

当社グループは、連結売上高の合計に占める国内の外部顧客への売上高の割合が90%を
超えております。また、海外売上高は連結売上高の10%未満であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. (参考) 比較連結損益計算書等

(1) 比較連結損益計算書

(単位：百万円, %)

科 目	期 別	前第2四半期連結 累計期間		当第2四半期連結 累計期間		増 減	
		(自平成21年4月 1日 至平成21年9月30日)		(自平成22年4月 1日 至平成22年9月30日)		金 額	増減率
		金 額	百分比	金 額	百分比		
I. 売 上	高	98,980	100.0	99,148	100.0	167	0.2
II. 売 上 原 価		73,303	74.1	72,947	73.6	△ 355	△ 0.5
売 上 総 利 益		25,677	25.9	26,200	26.4	523	2.0
III. 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		22,669	22.9	22,953	23.2	284	1.3
営 業 利 益		3,008	3.0	3,246	3.2	238	7.9
IV. 営 業 外 収 益		369	0.4	412	0.5	43	11.8
受取利息及び受取配当金		71		111			
そ の 他		297		301			
V. 営 業 外 費 用		406	0.4	376	0.4	△ 29	△ 7.3
支 払 利 息		274		250			
そ の 他		131		126			
経 常 利 益		2,971	3.0	3,282	3.3	311	10.5
VI. 特 別 利 益		46	0.0	236	0.2	190	413.3
固 定 資 産 処 分 益		46		236			
VII. 特 別 損 失		602	0.6	546	0.5	△ 55	△ 9.2
固 定 資 産 処 分 損		164		105			
減 損 損 失		264		324			
投 資 有 価 証 券 評 価 損		3		79			
そ の 他		168		38			
税金等調整前四半期純利益		2,415	2.4	2,972	3.0	557	23.1
法人税、住民税及び事業税		282	0.2	496	0.5	214	76.0
法 人 税 等 調 整 額		△ 32	△0.0	△ 472	△0.5	△ 440	
法 人 税 等 合 計		249	0.2	24	0.0	△ 225	
少数株主損益調整前四半期純利益		2,165	2.2	2,948	3.0	783	36.2
少数株主利益又は少数株主損失(△)		66	0.1	253	0.3	△ 186	279.0
四 半 期 純 利 益		2,098	2.1	2,695	2.7	596	28.4

(2) 比較連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第2四半期連結 会計期間末	前連結会計年度末	増 減
	(平成22年9月30日)	(平成22年3月31日)	
(資 産 の 部)			
I. 流 動 資 産	49,945	46,418	3,527
現金及び預金	8,946	10,652	△ 1,706
受取手形及び売掛金	21,037	19,852	1,185
商品及び製品	6,762	5,918	844
仕 掛 品	730	631	99
原材料及び貯蔵品	10,179	8,019	2,160
繰延税金資産	1,445	796	648
そ の 他	896	596	300
貸倒引当金	△ 52	△ 48	△ 4
II. 固 定 資 産	66,398	68,875	△ 2,477
1. 有 形 固 定 資 産	51,468	52,942	△ 1,474
建物及び構築物	15,962	16,496	△ 533
機械装置及び運搬具	9,149	9,608	△ 459
工具、器具及び備品	1,940	1,975	△ 35
リ ー ス 資 産	4,649	5,162	△ 513
土 地	19,490	19,641	△ 150
建設仮勘定	275	58	217
2. 無 形 固 定 資 産	978	1,106	△ 128
3. 投資その他の資産	13,951	14,826	△ 874
投資有価証券	8,360	9,281	△ 921
長期貸付金	136	128	8
繰延税金資産	53	67	△ 13
そ の 他	5,765	5,689	75
貸倒引当金	△ 363	△ 339	△ 24
資 産 合 計	116,344	115,294	1,049

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第2四半期連結 会計期間末	前連結会計年度末	増 減
	(平成22年9月30日)	(平成22年3月31日)	
(負 債 の 部)			
I. 流 動 負 債	37,842	37,454	387
支払手形及び買掛金	19,541	18,411	1,130
短期借入金	486	987	△ 500
一年内返済予定の長期借入金	8,072	8,244	△ 172
未払法人税等	589	491	98
未払消費税等	283	487	△ 203
リース債務	1,344	1,348	△ 3
賞与引当金	1,235	1,065	170
その他	6,288	6,419	△ 131
II. 固 定 負 債	14,759	15,607	△ 847
長期借入金	9,287	9,423	△ 135
繰延税金負債	1,103	1,271	△ 167
退職給付引当金	533	516	17
リース債務	3,383	3,920	△ 536
その他	451	476	△ 24
負 債 合 計	52,602	53,062	△ 460
(純 資 産 の 部)			
I. 株 主 資 本	61,462	59,694	1,768
資 本 金	6,716	6,716	-
資 本 剰 余 金	21,685	21,685	-
利 益 剰 余 金	33,118	31,348	1,769
自 己 株 式	△ 57	△ 56	△ 0
II. 評 価 ・ 換 算 差 額 等	1,093	1,600	△ 507
その他有価証券評価差額金	1,156	1,685	△ 528
繰延ヘッジ損益	△ 2	3	△ 6
為替換算調整勘定	△ 60	△ 87	27
III. 少 数 株 主 持 分	1,185	936	248
純 資 産 合 計	63,742	62,231	1,510
負 債 ・ 純 資 産 合 計	116,344	115,294	1,049

(3)比較連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第2四半期連結 累計期間	当第2四半期連結 累計期間	増 減
		(自 平成21年4月 1日) (至 平成21年9月30日)	(自 平成22年4月 1日) (至 平成22年9月30日)	
		金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期純利益		2,415	2,972	557
減価償却費		2,964	3,008	43
貸倒引当金の増減額(△は減少)		△ 2	28	30
退職給付引当金の増減額(△は減少)		△ 213	△ 384	△ 170
受取利息及び受取配当金		△ 71	△ 111	△ 39
支払利息		274	250	△ 23
固定資産処分損益(△は益)		118	△ 131	△ 250
減損損失		264	324	59
投資有価証券評価損(△は益)		3	79	75
売上債権の増減額(△は増加)		382	△ 1,216	△ 1,599
たな卸資産の増減額(△は増加)		2,029	△ 3,103	△ 5,133
仕入債務の増減額(△は減少)		173	1,130	956
未払消費税等の増減額(△は減少)		90	△ 203	△ 293
その他		△ 275	△ 136	138
小 計		8,154	2,505	△ 5,648
利息及び配当金の受取額		116	139	23
利息の支払額		△ 274	△ 250	24
法人税等の支払額		△ 260	△ 354	△ 93
営業活動によるキャッシュ・フロー		7,734	2,040	△ 5,694
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
投資有価証券の取得による支出		△ 14	△ 16	△ 2
投資有価証券の売却による収入		154	1	△ 153
固定資産の取得による支出		△ 2,125	△ 1,682	442
固定資産の売却による収入		523	607	83
その他		△ 255	△ 220	35
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,716	△ 1,310	405
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額(△は減少)		△ 273	△ 498	△ 224
長期借入れによる収入		4,193	4,003	△ 189
長期借入金の返済による支出		△ 3,870	△ 4,311	△ 441
リース債務の返済による支出		△ 766	△ 697	68
配当金の支払額		△ 661	△ 925	△ 264
少数株主からの払込みによる収入		480	-	△ 480
その他		△ 5	△ 5	△ 0
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 903	△ 2,434	△ 1,531
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		3	△ 0	△ 3
V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		5,118	△ 1,706	△ 6,824
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		3,009	10,615	7,606
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高		8,127	8,909	781